

令和7年度防災分野のデータ流通促進のための調査検討業務
実務検討ワーキンググループ(第2回)
議事要旨

1. 日時

令和8年3月11日(水) 15:00~16:35

2. 出席者

有吉委員、岡本委員、大工園委員、光田委員(50音順)

内閣府(防災担当)、デジタル庁、(国研)防災科学技術研究所

3. 議事次第

(1) 関連事業の実施状況

- 防災DX事例共有会について
- 新総合防災情報システム(SOBO-WEB)を活用した机上演習(TTX)の取組状況説明

(2) 今年度の検討報告について

4. 議事要旨

デジタル庁より、防災DX事例共有会について、内閣府より、新総合防災情報システム(SOBO-WEB)を活用した机上演習(TTX)の取組状況を説明したのち、内閣府より、本事業の本年度の検討状況を報告した。各委員からは以下の意見等があった。

【(1)関連事業の実施状況 について】

- 新総合防災情報システム(SOBO-WEB)にて平時から閲覧可能なデータは限定されており、災害時にのみ連携されるデータの閲覧イメージが掴みづらいため、災害時にのみ連携されるデータも模擬データ等の形式で平時から閲覧可能にすることが望ましい。
- 新総合防災情報システム(SOBO-WEB)の操作経験がない状態で訓練に参加することがないように、内閣府が能動的に研修の機会を設けることが望ましい。
- 大規模地震時の応急期(特に初動期)は、被害想定をもとにした災害対応が有効と思料する。そのため、今後新総合防災情報システム(SOBO-WEB)において、被害想定(可能であれば平成大合併前の市町村単位)の閲覧が可能となることを望ましい。

【(2)今年度の検討報告 について】

<指定公共機関等における新総合防災情報システム（SOBO-WEB）利用促進に資する平時の訓練等に関する調査検討 について>

- 指定公共機関における訓練を実施するにあたっては、訓練の実効性を高めるために、所管省庁との連携を含めた訓練を検討することが望ましい。
- 訓練を実施するにあたっては、訓練参加者が意思決定の練習を行えるように、即時的な意思決定が求められるような訓練シナリオを部分的に組み込むことが望ましい。
- ロールプレイング型の訓練では付与される情報の処理に終始する懸念があるため、討議型の訓練も取り入れることで災害対応への理解が深まると料する。

<他の情報グループとのデータ連携等にむけた規約等の策定検討 について>

- 特筆事項なし

以上